

長官山登別山岳会と白石市白峰会との親睦交流登山

山域：礼文島トレッキングおよび

利尻山（1721m）登山

日程：平成30年7月17日～20日

参加者：白峰会佐藤会長以下10名、

登別山岳会河村会長以下19名

7月17日（火）、早朝3時に幌別をマイクロバス2台に分乗、一台は途中登別にて2名を同乗、登別東～高速を使い北広島に向かい、1名同乗、もう一台は苫小牧にて1名を同乗、野幌にて2台が合流。深川より留萌道を使い6時45分頃留萌に到着。

小平町道の駅ニシン番屋にて休憩 2台の車



いよいよサロベツ原野通称オロロン街道を稚内に向けひた駆ける。

左前方に焼尻の島影がかすみ、利尻島の雄姿が迫る。

焼尻島

利尻島



羽幌に7時38分頃到着、大きな町だ、此处より焼尻、天売島へフェリーが出ている。

遠別町道の駅で小休憩。 ガイド図



道内第二の大河天塩川に架かる橋を9時7分頃渡る。

広い川尻をカヌーで遊ぶ、楽しそう。



稚内フェリーターミナルに10時到着
500kmの運転、お疲れさん。



2台の車で白峰会の10名を空港まで出迎え、飛行機が30分程遅れ、12時35分頃到着、駐車場に駐車、横断幕で出迎え、懐かしい顔笑顔で出迎え。良くいらっしやいました。



待合室にて昼食、付近を散策。

14時45分礼文島香深行きフェリーに乗船、大きな船だ、波も比較的穏やか、島影が細長く画面に入れない



香深に16時40分頃到着、宿の方が2台で出迎、17時前に民宿「はな心」に到着。



各自部屋に落ち着き、入浴、明日の準備・整理で夕食まで時を過ごす。

6時30分から食堂で交流親睦会開催。

河村会長歓迎挨拶



佐藤会長挨拶



懐かしい白峰会の皆様、よくお出で下さいました、心より歓迎いたします。美味しい料理を食し、相互に盃を傾け、自己紹介を行い親交を深めた。

20時半お開き、就寝。

7月18日(水)、晴れ、宿を6時38分2台の車に分乗、香深井林道登山口に6時48分到着、体操、登山準備後、A,B,Cの3班に別れ7時10分登山開始。



よく整備された林道を迂遠内分岐に向け歩く、林道脇にはあまり高山植物は見当たらない。途中数回の休憩を摂りながら7時22分頃分岐に到着



この分岐より南行、礼文滝を目指す。

天気晴朗、無風、四葉塩釜の残姿、遠方に桃岩方面



8時24分頃礼文滝分岐に到着、小休止。



2か所の沢を渡り、礼文滝展望台に8時50分到着、滝は望めず残念。間近に桃岩方面を望み、V字に切れ落ちた滝上部を見下ろす。



分岐に9時17分に帰着。出発：9時30分。

トイレ・レンジャーハウス簡所に9時57分到着



西斜面レブンウスユキソウの群生地だ。



A班の皆さん



C班の皆さん



10時30分元地よりメノー浜を見下ろす、利尻山の勇姿が雄々しい。



10時50分桃岩・フェリーターミナル分岐到着。



桃岩展望台登り口に11時到着、ひと頑張りだ。



11時10分桃岩展望台に到着、眺望抜群。

天気にも恵まれ最高だ。



ハイ “にっこりと全員で記念写真



銘々昼食を摂る、12時10分元地灯台目指し、出発。
両サイド高山植物多し、猫岩、西海岸の景観見事。



13時10分元地灯台に到着。眺望よし。



13時15分北のカナリアパークに向け出発。知床への
道筋高山植物多い、心を癒して呉れた。



13時50分北のカナリヤパークに到着、見学する方
コーヒーを飲む方、等銘々迎えの車を待つ。



迎えの車に乗り、フェリーターミナルに向かう。

16時25分発駕泊行きのフェリーに乗船、17時10
分到着。旅館「雪国」のマイクロが迎えに来てくれた。
各自部屋に落ち着き温泉に入浴、18時30分の夕食ま
で明日の準備等で寛ぐ。夕食後早めの就寝で明日に備
える。

7月19日（木）、起床3時30分、宿発4時30分、
マイクロで北麓野営場まで送って貰う。4時38分着。
登山支度、準備体操後4時50分出発。



礼文島と違い樹木が多い、エゾ松の林を登る。

間もなく甘露泉に到着、帰りの楽しみだ。

4合目（野鳥の森）5合目（雷鳥の道標）で小休止。



礼文島の島影が

大事な水分補給



6・5合目トイレブースで用を足す人、小休止

6合目（第一見晴台）、7合目（胸突き八丁）



駕泊は薄いガスの中

急登が始まる、息が弾む。いつの間にか灌木帯に入る
第2見晴台（1120m）はガスの中、風が強い。

8時50分、長官山（1218m）はガスの中見晴ゼロ



長官山から下り、8・5合目の避難小屋に9時10分
に到着、リタイヤ者が2名おり、小屋で下山を待つ。

9合目から砂礫の道で右斜面は崩壊地で危険



高山植物がちらほらと咲いていた。



土止め木製階段を一段一段踏締めて高度を稼ぐ
仰ぎ観れば頂上手前のピークが目前だ。



切割れの砂礫道を息を弾ませ登り切り、11時18分利尻山（1721m）の頂上に立つ。

残念ながらガスで見晴は効かないが、登頂の笑顔がすばらしい。よく頑張りました。



頂上は風も無く皆んなでお昼を食べる。

下山11時55分、ガレ場は慎重に滑りに細心の注意を払い歩を進めた。吹きさらしは霧雨の風が強い。

避難小屋13時15分、待機者2名と合流、長官山13時27分、7合目14時10分、小休止。5合目15時、甘露泉15時40分、冷たく美味しい水を戴き、ボトルに汲み入れ、汗を掻いた顔を洗う、ああ“気持ちいい

北麓野営場に16時20分全員無事下山した

皆さんお疲れさん。宿の車が迎えに来てくれた。

汗を掻いた身体を温泉で癒し、18時30分から料理と挿し入れの銘酒（蔵王）で乾杯、お酒を酌み交わせ別れを惜しみ、再会を祝した。

7月20日（金）、7時朝食、8時宿を離れフェリーターミナルに向かう。白峰会の皆さんは午前中島内見学午後の飛行機で千歳に向かう。

白峰会の皆さん見送り、別れをおしんできた。



8時30分離島、稚内着10時10分、2台の車に分乗
帰路に就く。途中初山別の公園と天文台に立ち寄る。



羽幌のバラ公園に立ち寄り、満開のバラが咲誇る種類が多いのに感激



羽幌漁港で新鮮ないか（安い）をゲット。干物も沢山あるよ。土産に最適だ。

道の駅おびら鯨番屋で休憩、留萌、北竜、秩父別を経由砂川オワシスで大休憩を摂る。ここで一次お別れをする。北広島、登別でお別れをし、19時30分幌別帰着、19時40分に無事帰宅する。

長駆の運転ご苦労さん、また会計さん、企画実施の担当者さんどうも有難うございました。心より感謝を申し上げます。良い旅でした。

IK 記